

専徳寺報

第427号

平成28年9月17日発行

浄土真宗本願寺派

専徳寺

専徳寺納骨堂受付中

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<http://sentokuji-iwakuni.net/>

専徳寺

検索

秋讃仏会あきさんぶつえ（彼岸会）ほうよう法要

併修 戦没者追悼法要

御案内

秋のお彼岸をご縁に讃仏会法要をつとめます。にぎにぎしくご参詣ください。

日時

9月30日(金)

昼 1時30分～3時30分

夜 19時30分～21時

10月1日(土)

昼 (ご満座)

1時30分～3時30分

ご講師

本願寺輔教 成 照星 師 (太宰府市)

●法座奉仕：藤生地区

●戦没者追悼法要 30日昼座

戦没者を追悼し、ご遺族の焼香があります。

●参拝セット (念珠・聖典・式章・聴聞カード) どうぞお持ちください。

来月から伝灯奉告法要

十月一日より来年五月まで、本願寺では「伝灯奉告法要」が勤修されます。新しいご門主である専如上人が、門主就任を仏祖・宗祖の前で告げられる大きな法要です。

岩国組での団体参拝は随時受け付けています。ご一緒に参拝いたしましょう。

【期間】平成29年5月16日～17日

【代金】4万5千円 (部屋は相部屋)

【申し込み】お寺にご一報ください

(☎0827-38-1124)



ご門主さま初のご著書

大谷光淳 著

『ありのままに、
ひたむきに』

専如ご門主が初めてのご著書『ありのままに、ひたむきに』不安な今を生きる』を、PHP研究所から刊行されました。

「宗教や仏教、浄土真宗を知らない方にも関心に向けていただけるような文章を意識しました。み教えそのものというより、私自身や対談して下さった方の生き方や考え方を通して、自己中心ではない、阿弥陀さまの教えに照らされて生きる浄土真宗の生き方をお伝えできれば」。門主となられた現在の思いを素直に語られています。全国の書店でも取り扱っています。法座でも何冊か準備いたします。定価600円です。



【法句】言葉を 聞くとは、心を いただくこと である

寺内だより

み仏にいだかれて〔葬儀勤修〕

8月26日御往生

平田 古谷 悦男様(78)
喪主 古谷 幸恵様

●ご恩を偲び〔法事勤修〕 8月3日〜9月11日

【長野】小島豊7、【通津】福田稔7、松村利明7、村岡修二7・7・13、藤重雅也1、松村豊1、【保津】賀屋宏昌33、森田清美1、岡部美代子3、土井英和17、粟津節子7、畝挟芳彦25、【青木】岩中敏夫7・33、【黒磯】片岡良太3、松脇克郎33、【市内】伊藤英子7、【大島】徳岡紀美3、【下松】木村ハルエ3

●おめでとつごいいます〔仏壇入仏〕

8月26日 御三幅 藤生 上村 郁子様
お給仕の慶び一人に存じます。

●歡喜会法要余香〔8月26・27日〕

【講師】加藤一英・英象師
【参詣数】(26日) 昼座95名、夜座29名、
(27日) 昼座71名。
【お鉢米】小方基史。



ついたち礼拝(月のはじめをお寺から)11月1日(火) 午前9時より45分間。

一泊合宿

(8月6・7日)

小学生の参加人数は32名。今年も龍大伝道部の学生さん4名が手伝ってくれました。

終了直後、岩国ユネスコ協会の依頼により「平和の集い」を開催。一泊合宿の子ども達に加え、百名を超える人が集まりました。一人一打ずつ鐘を鳴らし、平和について思いを馳せるイベントでした。フィナーレの「バルーンリリース(風船とぼし)」は大変美しい光景でした。



専徳精舎の鐘の声
摂取不捨の響あり



法要総交代

村河武男さんが、諸事情により退任されました。長い間、法座を支えてくださり誠に有り難うございました。
なお、昨年より中町の藤本杉男さんが、そして先月より泉迫の田中稔さん、高林宏明さんのお二人が、法要総代の任を快く引き受けてくださいました。

本堂の動物たち

本堂外陣の欄間の上(墓股)には、左から虎、龍、兎が彫られています。これは本堂の再建期間と関係あるようです。

天明2年(1782) ^{みずのえとら} 壬寅
天明3年(1783) ^{みずのとう} 癸卯
天明4年(1784) ^{きのえたつ} 甲辰

天明2年に上棟式があり、3年間で建立されたようです。今から230年ほど前、第六世住職・超応(1757~1794)師の時代です。



※10月1日は法座と重なった為ありません。